

# 3 道路整備の取組

## (1) 京奈和自動車道の整備

京奈和自動車道は、奈良県の南北軸となる重要な幹線道路であり、国とNEXCO西日本により整備が進められています。京奈和自動車道の整備により、移動時間の大幅な短縮や定時性の確保による企業立地の促進、観光振興などの地域経済の活性化、緊急医療施設へのアクセス向上による救急医療体制の強化等、様々な効果が期待されます。また、「紀伊半島アンカールート(14ページ参照)」の一部を形成し、災害時には救命救急活動や物資輸送の緊急輸送道路としての役割を担っています。

奈良県としても、京奈和自動車道の早期全線開通に向け、用地取得や設計上の課題解決に関する協力を行っていきとともに、更なる整備促進を国に働きかけています。



### 京奈和自動車道の進捗状況

全体		
京奈和道全体	総延長	約120km
	整備済み延長	約88km
	整備率	73%
奈良県域	総延長	約48km
	整備済み延長	約31km
	整備率	65%

区間別		
<b>大和北道路</b>		
(仮称) 奈良北IC～(仮称) 奈良IC	調査設計・用地取得・工事を推進中	
(仮称) 奈良IC～郡山下ツ道JCT	調査設計・用地取得・工事を推進中	
<b>五路道路</b>		
五條北IC～和歌山県境	平成18年6月に開通	

大和御所道路		
郡山下ツ道JCT～郡山南IC	平成27年3月に開通	
郡山南IC～榎原北IC	平成18年4月に開通	
榎原北IC～榎原高田IC	調査設計・工事を推進中	
榎原高田IC～御所IC	平成24年3月に開通	
御所IC～御所南IC	平成27年3月に開通	
御所南IC～五條北IC	平成29年8月に開通	

令和7年3月時点

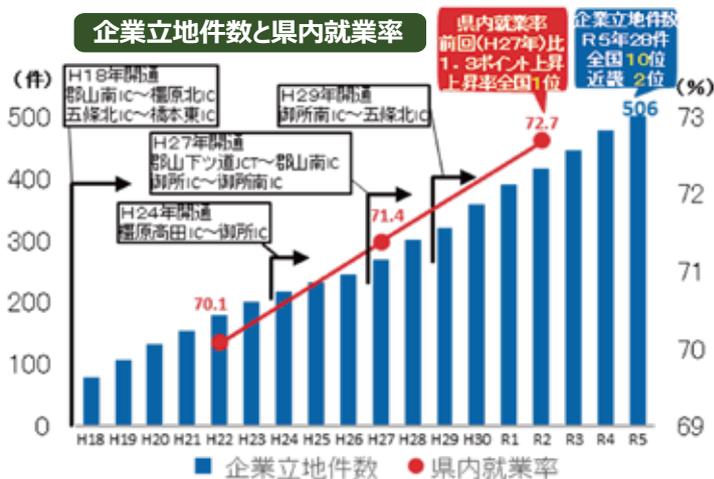
## 京奈和自動車道のストック効果

### ● 企業立地の促進

初の開通以来、周辺の工業団地では、令和5年までの企業立地件数が累計506件となりました。  
それに伴い6,771人の雇用の場が創出されました。

### ● 県内就業率の上昇

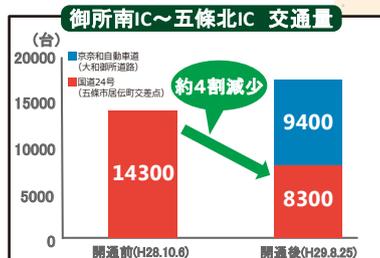
県内の働き先が増えることで、令和2年の県内就業率は前回(H27年)と比べ1.3ポイントの上昇で、全国トップの上昇率となり、奈良県の目指す脱ベッタウンが進んできています。



### ● 国道24号の慢性的な渋滞が緩和

京奈和自動車道の開通で、全体の交通量は増加していますが、並行する国道24号の交通量は減少し、円滑に通行できるようになっています。

また、交通量の減少により、交通事故発生率の低下も期待されます。



※国道24号の交通量は、居佐町交差点の北側断面交通量(昼間12時間)



### ● 観光周遊ルートの形成

大阪・関西から奈良・和歌山の世界遺産を結ぶ新たな観光周遊ルートが形成され、県全体の観光振興につながります。



TOPIC  
トピク

### 京奈和自動車道建設促進協議会 決起大会の開催

早期の全線開通に向け、17年ぶりに京奈和自動車道建設促進協議会決起大会を開催するとともに、財務省、国土交通省に対して要望活動を行いました。

決起大会には国会議員、沿線市町村長をはじめ多数の皆様にご参加頂きました。



京奈和自動車道建設促進協議会決起大会 要請書手交状況 (左から) 芝村 西日本高速道路(株)代表取締役社長、岸本 和歌山県知事、吉井 国土交通省大臣政務官、山下 奈良県知事、甲川 (独)日本高速道路保有・債務返済機構理事長代理、武田 京都府副知事、



【吉岡 国土交通事務次官】 令和6年度 京奈和自動車道の早期整備に関する要請書 手交状況



【東 財務大臣政務官】 令和6年度 京奈和自動車道の早期整備に関する要請書 手交状況

# 3 道路整備の取組

## (2) 紀伊半島アンカールート of 整備

県南部地域における防災機能向上及び地域活性化を図るとともに、紀伊半島全体にとっての道路ネットワークの代替性及び多重性を確保し、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応力の強化を図るため、国と県で連携して「紀伊半島アンカールート」の早期整備に取り組んでいます。

令和4年4月、重要物流道路として、五條新宮道路(国道168号)及び奈良中部熊野道路(国道169号)が指定されました。

### 紀伊半島アンカールートとは…

紀伊半島の骨格となる京奈和自動車道、近畿自動車道紀勢線、それを結ぶ五條新宮道路(国道168号)、奈良中部熊野道路(国道169号)の形が船の錨(イカリ:anchor(アンカー))の形に似ていることから呼称されています。



### 五條新宮道路(国道168号)

五條新宮道路は、京奈和自動車道と近畿自動車道紀勢線を南北に結ぶ高規格道路です。現在、以下の事業箇所の早期整備と、未事業化区間の事業化に向けて取り組んでいます。

### 奈良中部熊野道路(国道169号)

奈良中部熊野道路は、県南部地域の地方創生、国土強靱化の観点から重要な路線です。現在、以下の事業箇所の早期整備と、未事業化区間の事業化に向けて取り組んでいます。

#### 新天辻工区

平成28年度に大規模法面崩落により70日間の通行止めが発生



国道168号の中で冬期間通行の最大の難所



▲天辻峠(五條市)で立往生する車両(平成28年1月)

#### 十津川道路(Ⅱ期)

平成27年度に大規模法面崩落により61日間の通行止めが発生



十津川村桑畑(平成27年7月) 被災時の通勤・通学状況 十津川村桑畑



【凡例】

	国事業箇所
	県事業箇所
	現道
	調査路線

#### 伯母峯峠道路

現道の新伯母峯トンネルは車両のすれ違いが困難な状況



▲新伯母峯トンネル(川上村～上北山村)での大型車のすれ違いの状況



#### 下北山村前鬼～上池原

令和5年度に大規模法面崩落により189日間の通行止めが発生

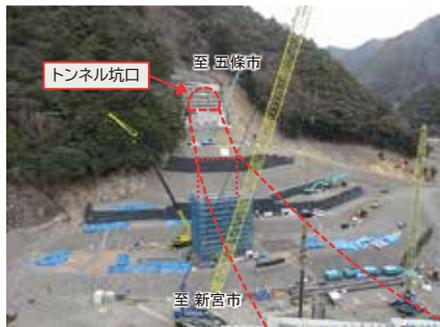


▲下北山村上池原(令和5年12月)

## 五條新宮道路(国道168号)の整備状況

### 長殿道路

現在、橋梁工事が進んでいます。



▲工事の様子 令和7年1月 撮影

### 風屋川津・宇宮原工区

現在、橋梁工事が進んでいます。



▲工事の様子 令和7年1月 撮影

## 奈良中部熊野道路(国道169号)の整備状況

### 御所高取バイパス

現在、調査・設計を進めています。



▲完成イメージ

### 高取バイパス

現在、整備を進めています。



▲工事の様子 令和7年1月 撮影

### 伯母峯峠道路

現在、整備工事が進んでいます。



▲工事の様子 令和7年1月 撮影

### 安全で安定した通行の確保！

国道169号は、三重県東紀州地域から関西圏への輸送ルートであるとともに、吉野郡南東部から南奈良総合医療センターなどの高次医療施設への救急医療活動を支援する道路としての役割を担っています。国道169号の整備により、平常時・災害時に於いて、安全で安定した通行が確保され、強靱な道路ネットワークが構築されます。



▲南奈良総合医療センター(大淀町)



▲急カーブによる救急車両のすれ違い(下北山村上池原)

## TOPIC

トピ7

### 国道169号下北山村前鬼～上池原 権限代行による災害復旧が決定

令和5年12月23日に国道169号吉野郡下北山村上池原で発生した崩土災害について、令和6年6月27日に権限代行による災害復旧事業に着手中の国土交通省から別線トンネルルートでの本格復旧が決定したと発表がありました。

現在、別線トンネルルートに係る設計や工事発注なども進んできており、早期復旧に向け、奈良県としても用地交渉や工事進捗管理に関する協力を行っています。



## (3) (仮称)奈良 IC 周辺〔(都)西九条佐保線等〕の整備

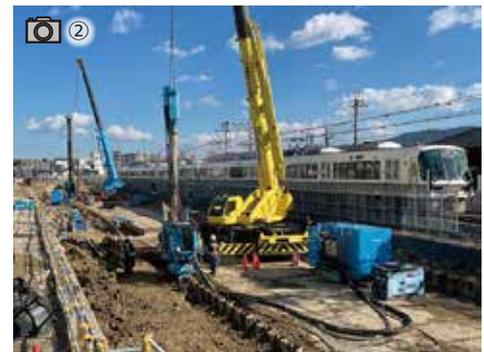
奈良市中心市街地と京奈和自動車道(仮称)奈良 IC を結ぶアクセス道路であり、まちづくりの骨格となる(都)西九条佐保線や(都)大安寺柏木線の整備及び J R 関西本線の高架化、新駅設置を推進します。

また、(仮称)奈良 IC と J R 新駅による交通結節機能を活かしたまちづくりに取り組むとともに、県内初の高規格道路と鉄道の結節による周遊性の向上を図ります。

### ■ (仮称) 奈良 IC 周辺位置図



### ■ J R 関西本線の高架化工事の進捗状況



## TOPIC トピック J R 関西本線の高架化工事に着手しました



J R 関西本線の高架化事業は、令和6年4月に仮線路への切替が完了しました。

令和6年6月に高架化工事起工式を行い、同年7月から本格的な工事に着手しています。

令和10年度末での高架化及び新駅の完成に向けて、引き続き工事を進めていきます。



## (4) 小規模道路改良提案制度(One Year Response Project(ワンスポ®プロジェクト※))

※副題の名称は、事業化の決定から概ね1年以内の完成を目指すことに由来しています。

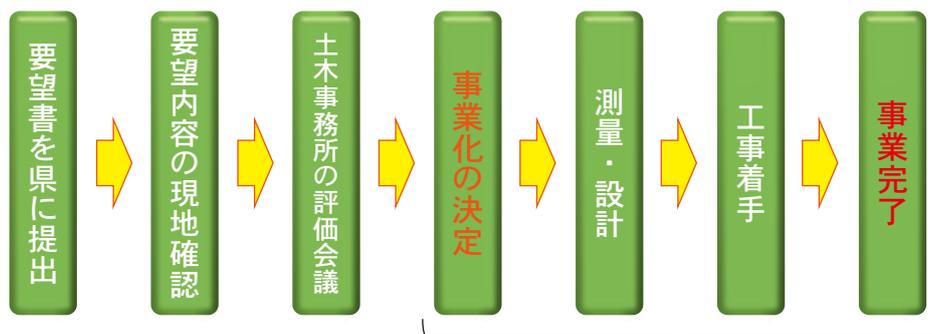
### 制度のねらい

県土マネジメント部では、日頃地元自治会等から多くの道路改良要望をいただいています。いただいたご要望等を基に、「奈良県道路整備基本計画」で定める手続き(P.6の道路整備の方針でお示しています。)に則り事業化を図っています。検討過程におきましては、幹線道路など規模の大きい改良は、事業効果の数値化が明確で事業化の優先度が高く現れますが、小規模な改良は事業効果の数値化が難しく、事業化の優先度が決して高く現れない状況で、これまで小規模な改良要望に機動的に対応できていませんでした。

このため、一定の条件を満たした場合、規模が小さくても、高い効果が期待できる改良につきましては、土木事務所長の裁量によりスピーディーに工事着手し、概ね1年以内に対処することで、地元の満足度向上を目指します。

### 要望から事業化までの手続き

○小規模道路改良提案制度の要望から事業完成までの流れ

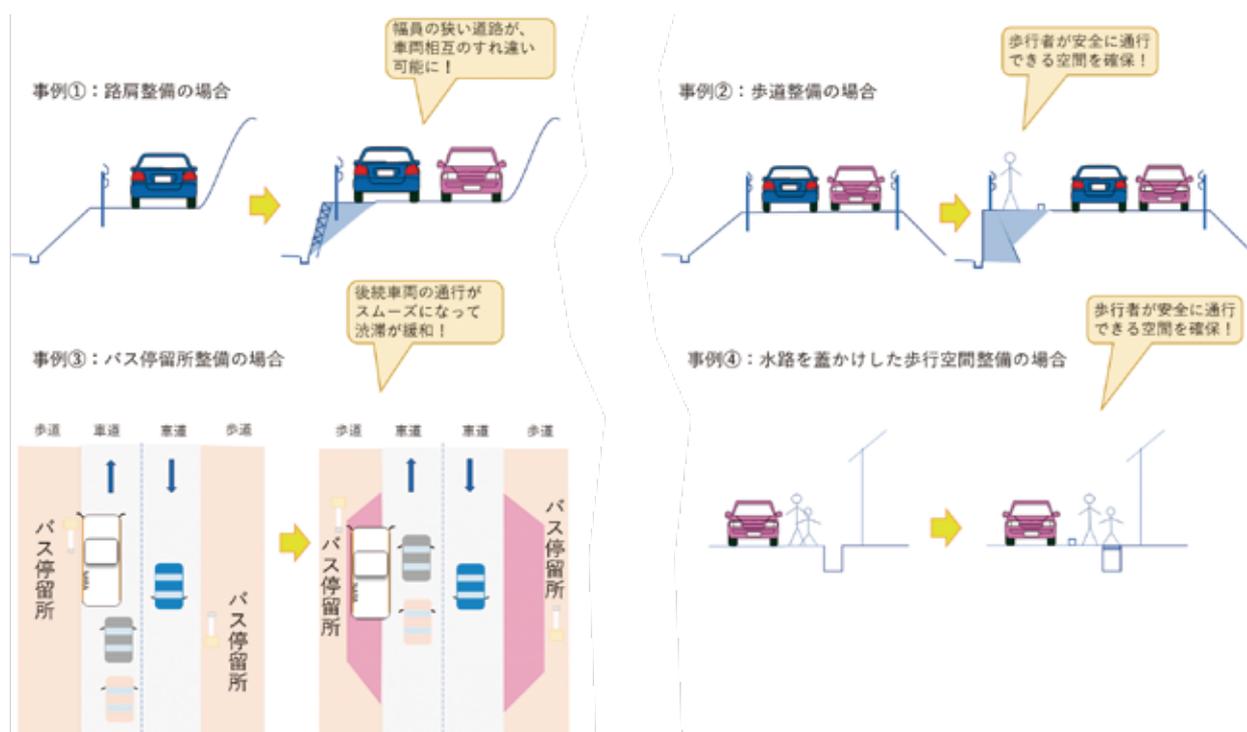


「一定の条件」

- ◇地元市町村長及び地元自治会から改良にかかる要望があること。
- ◇単区間の改良であって、
  - ・事業規模が大きくないこと。(上限を5千万円と想定)
  - ・概ね単年で施工できること。
  - ・現道路区域内の改良であること。(用地取得を伴わない)

概ね1年以内の完成を目指します

### 改良のイメージ



### 3 道路整備の取組

## (5) ならの道 リフレッシュ プロジェクト

道路の計画的な維持管理を行うことで、快適な道路空間を道路利用者に提供できるよう、令和6年度より5カ年計画で『ならの道 リフレッシュ プロジェクト』を実施しています。

### 令和7年度より拡大

#### ■ 対象路線を追加

大型車交通量の多い県管理の主要道路だけでなく、より多くの道路利用者に快適な道路空間を提供できるよう自動車交通量の多い県管理道路を追加し拡大します。

#### ■ 市町村と連携した支障木伐採負担事業の創設

市町村と連携した道路に支障のある民有林内の樹木への対策を実施します。令和7年度は野迫川村を対象に試験的に実施し、令和8年度より全県的な本格展開を予定しています。

## ① 舗装の耐久性向上

大型車交通量の多い主要道路を中心に、舗装の**損傷度に応じた適切な舗装修繕**を実施します。

舗装の**耐久性が向上**することで、快適な路面状態が維持され、**ライフサイクルコストの低減**にも繋がります。

#### ■ 舗装修繕の実施状況

補修前



補修後

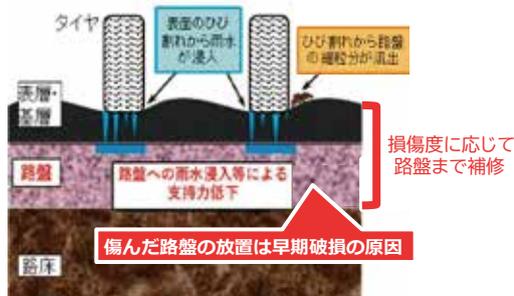


▲ 老朽化した舗装の修繕：令和6年度 舗装修繕工事 完了箇所(中和幹線 香芝市高山台、穴虫工区)

#### ■ 舗装が損傷するメカニズムと修繕の考え方

表層にひび割れが発生するとそこから雨水が侵入し、路盤の支持力が低下します。さらにひび割れから路盤の成分が流出します。

**傷んだ路盤を放置することは早期破損の原因**になるため、損傷度に応じて路盤の修繕も行います。



▲ 路盤が損傷するメカニズムと補修イメージ  
出典：国土交通省資料を元に奈良県編集

## ② 区画線の維持修繕

大型車交通量の多い道路を中心に、県管理道路の区画線補修を実施します。

さらに、パトロールで発見した箇所や通報があった箇所に加え、パトロール中に撮影した動画を**AIによる解析技術**を用いて**損傷具合を確認し、補修を実施**します。

#### ■ 区画線修繕の実施状況

補修前



補修後



▲ 消えかけた区画線の修繕：令和6年度 区画線補修工事 完了箇所(中和幹線 大和高田市松塚工区)

### ③ 草刈りのメリハリ化

大型車交通量の多い主要道路を中心に、**雑草が生えない対策を実施**するとともに、観光地や危険箇所にも着目し、草刈りなどを実施します。



雑草が生えなくなることで、**雑草のはみ出しによる危険度、不快感を軽減**させます。さらに、従来草刈りをしていた箇所以外（観光地や危険箇所）での**草刈りも実施**します。

補修前



補修後



▲コンクリートを使用した防草対策令和6年度 防草対策工事 完了箇所（大和郡山環状線 大和郡山市城町工区）

### ④ 道路維持管理のDX

- SNS(LINE[#9910])などの身近かつ写真、位置情報の送信が可能なツールを用いることにより、利用者の**通報しやすさを向上**します。
- 従来のパトロールに加え、パトロール中に撮影した動画を**AIによる解析技術**を用いることで、より**効率的な道路状況の確認が可能**となります。



電話通報



SNSによる通報



道路パトロール  
(+ AI技術の活用)

道路異常箇所の発見手法（赤枠部を新たに導入）

### ⑤ 支障木伐採負担事業（令和7年度より段階的に実施）

#### ●山間エリアにおける課題

- 道路管理者として、道路の建築限界内の通行の支障となる枝葉の『伐採・剪定の処理が発生』
- 放置された民有林からの枝落ち、倒木による『通行規制の発生』
- 放置された民有林からの倒木による『交通事故の発生』

**市町村と連携した、民有林への対策が必要**



#### 支障木伐採負担事業の創設

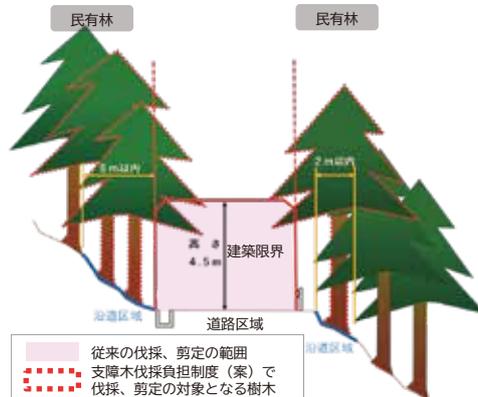
##### 道路に支障のある樹木を伐採・処分

- ・市町村が民有林の所有者と交渉
- ・所有者の同意後、伐採及び処分を実施  
（※県の負担は、伐採及び防草対策(1回分)費用）  
（※市町村の負担は、運搬及び処分費用）
- ・伐採後の維持管理は土地所有者などが実施

##### 伐採後に沿道区域を指定

- ・行政指導により支障木による道路への障害を防止

イメージ図



### TOPIC

トピック

#### 道路緊急ダイヤル（#9910）LINEアプリの運用開始

道路の異常を発見した際の通報手段として、国の道路緊急ダイヤル（#9910）のLINEアプリの運用が奈良県でも開始されています。

LINEアプリによる通報では、写真や位置情報を簡単に送信することができますので、ぜひご利用ください！



▲詳しい操作方法など



▲友だち追加はこちら